

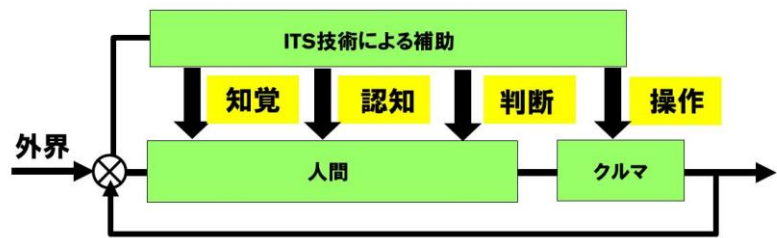
## 講演概要

タイトル: (運転支援と自動運転 ～日産自動車のとりくみ～)

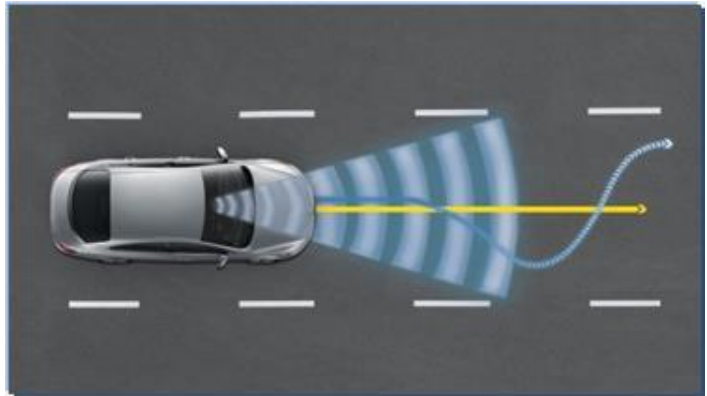
講演団体: 日産自動車株式会社

最近、「自動運転」という言葉が、いろいろな場に出てきます。ここではこの「自動運転」と、その土台となる「運転支援」について、日産自動車の取り組みをご紹介します。

ドライバーはクルマの運転中に、知覚、認知、判断、操作という作業をしていると言われています。ここでいう運転支援とは、IT(Information Technology) / ITS (Intelligent Transportation System)技術で、これらの一部を機械が補助(支援)するというものです。運転支援はクルマの周囲の状況を察知し、ドライバーに情報の提供や注意の喚起、また必要に応じて警報や制御介入を行うことで、交通事故の予防的防止の支援やスムーズな交通の実現を支援するものです。すでに様々な運転支援システムが実用化されていますが、特定の場面や状況では機械が人間の運転を部分的に代行しているものもあります。



自動運転については「ドライバーが運転しない無人運転」というのが世間一般のイメージだと思います。今までの関係者の大方の論議では、究極は無人運転としながらも、機械が部分的にでも運転の代行を行うものはすべて自動運転の分類に含まれるということになっていて、「運転支援」と「自動運転」の間に明確な区分があるわけではありません。既存の運転支援の支援レベルを上げてゆくのが将来の自動運転、ということになっています。



ここでは、様々な種類の運転支援装置の紹介と、自動化技術の開発状況についてご紹介します。

